

9月10日は下水道の日

下水道は正しく使い、水質保全にご協力下さい

油を流さないで下さい

下水道に油を流すと下水道管の中で固まって詰まったり、下水処理水の水質を悪化させたりします。

食用油はできるだけ使い切り、捨てる場合は不燃な紙や布で吸い取るか油を固める製品を使い、燃やせるごみとして出して下さい。

最近、食用油と混ぜて排水として「流す」タイプの油処理剤が市販されていますが、時間がたつと元に戻ってしまう製品がほとんどです。結果的には下水道に直接流すことと変わらないので、油をこのような処理剤で流さないで下さい。

デイスボーズ(排水処理設備のないもの)は使用しないで下さい

デイスボーズは生ごみを粉砕して排水として流すものですが、排水処理設備のないものを使用すると、下水道管の詰まりや腐食、下水処理場での処理が困難になるなどの問題が生じます。

下水の汚れをできるだけ少なくして下さい

下水道に排水された下水は、下水処理場で浄化して河川に放流されますが、処理場に入ると下水の汚れが少なければ、それだけ処理水の品質も良くなります。また、処理するための電力等が少なくて済むので、経費の節減になるほか、エネルギー資源の消費量や二酸化炭素の発生量が少なくなるなど、地球環境の保全にもなります。



下水管に油が付着し、下水の流れが悪くなっているところ

ご家庭でできる下水の汚れを少なくする工夫として次のような方法があります。

食器や鍋などのひどい汚れは、へらでかき取ったり、不燃な紙や布でふき取ると、そのまま洗い流した場合に比べて、BOD(水の有機物による汚れの度合いを表すもの)を約80%削減することができます。

目の細かい三角コーナーや水切り袋を使用すると、固形分を約45%削減することができます。洗剤、シャンプーなどにも水汚す成分が含まれています。適量使用することで汚れを少なくすることができます。

下水道の機能に支障があるものは流さないで下さい

次のようなものは、下水道の機能に支障がありますので流さないで下さい。

×ガソリン、灯油、シンナー等は、火災や爆発等の事故のもとになります。

×農薬、除草剤、殺虫剤等は、下水処理水の品質を著しく悪化させます。

問 水質管理課 ☎720・1824

市内の交通事故状況と交通安全の取り組み

本年、市内の交通事故は、人身事故・物件事故ともわずかながら減少していますが、それでも1月～7月では、交通事故により怪我をされた方が約2000人にも及び、そのうち3人の尊い命が失われています。

二輪車による交通事故の防止と自転車の安全利用の推進

市内の二輪車を当事者とする交通人身事故は、全体の30パーセントです。二輪車安全走行の4ポイントは、カーブ手前での減速、一時停止と徐行の励行、交差点内では右折車に注意、安全な速度と車線を守る、です。これらを実行し交通事故防止を図りましょう。

子どもと高齢者の交通事故防止

市内の子どもを当事者とする交

通人身事故は100件を超えています。そのほとんどが自転車乗車中と歩行中です。保護者の方は家の周りを子どもと一緒に歩いて、危ない箇所の通行方法を教えて下さい。

また自転車も「車両」の一種です。マナーを守り安全な運転を心掛けるよう家庭で繰り返し指導して下さい。

高齢者の方を当事者とする交通人身事故は230件発生しています。車の直前直後の横断や斜め横断は大変危険ですので、近くの横断歩道を渡して下さい。また、信号が点滅したら次の青信号まで待ちましょう。夜間の外出は明るく目立つ服装で、反射材(リフレクター)を着用して下さい。



南中女子ハンドボール部の皆さん

市立南中学校女子ハンドボール部が全国大会へ出場

千葉県で8月22日から開催された全国中学校ハンドボール選手権大会に、市立南中学校女子ハンドボール部が出場することになり、8月20日、選手たちがその報告に寺田市長を訪ねました。市長から激励を受けた選手たちは、元気に健闘を誓っていました。大会では惜しくも愛知県の宝神中学校に敗れ、入賞を逃しました。

個人情報保護のために 本人確認にご協力下さい

「なりすまし」を防ぎ、個人情報を保護するために、本人確認を行っていますので、ご協力下さい

本人になりすました第三者からの住民異動の届出や印鑑証明書の請求などの事件が、各地で発生しています。このような「なりすまし」の犯罪を事前に防ぎ、あなたの個人情報を保護するために、町田市では本人確認をさせていただいていますので、ご協力下さい。

届出・請求・申請などの時には、本人確認のために、氏名などが記載された書類をご持参下さい

戸籍や住民異動の届出・証明書の請求・印鑑登録の申請などの時には、本人確認のために、氏名などが記載された運転免許証・パスポート・住民基本台帳カードなどの書類をご持参下さい。

書類による確認のほか、窓口で口頭で質問をするなどの方法により、本人確認をさせていただく場合があります。

届出などがあったことを改めて本人にお知らせし、確認させていただく場合があります。

お問い合わせは、下記の市民課・各市民センターへ
市民課 ☎724・2864 鶴川市民センター ☎735・5704
忠生市民センター ☎791・2802 堺市民センター ☎774・0003
南市民センター ☎795・3165 小山市民センター ☎798・1927
なるせ駅前市民センター ☎724・2511

住民基本台帳カードを交付しています

希望する方からの申請により、住民基本台帳カード(住基カード)を交付しています。所定の申請書に、本人が必要事項を記入して申請して下さい。住基カードには、記載内容によって2種類の様式があり、有効期限は交付後10年間、交付手数料は500円です。

様式A = 氏名、有効期限
様式B = 氏名、有効期限、住所、生年月日、性別、顔写真
住基カードは、住民票の写しの広域交付や転入転出の際に活用できます。また、顔写真付きの住基カードは、公的な身分証明書として本人確認などに利用できます。

問 市民課 ☎724・2123

年	人身事故 (件)			物件事故 (件)		
	発生件数	死亡	重傷	軽傷	傷	傷
H16	1697	3	30	1959		4212
H15	1747	5	35	2008		4330
増減	-50	-2	-5	-49		-118

町田市内の交通事故 (平成16年 7月30日現在)



(町田市医師会)

「恋愛は麻疹(はしか)のようなものである。我々は皆それを通り過ぎなければならない」という古い格言があります。こんなイメージが定着しているので、麻疹は軽い病気と考えてしまいがちです。しかし実際は昔から「命定め」と言われ、子どもの病気の中心でも一番重く、命を左右する病気とされてきました。医学は進歩していますが、この麻疹という病気の重さに何ら変化はないのです。

現在最も確実な予防法は、予防接種です。麻疹は予防接種の効果が高く、接種率を上げれば流行が阻止できると考えられています。しかし残念ながら日本での接種率は80%程度で、年間10万人以上が罹患し、外国への持ち込みもあって、麻疹の後進国、輸出国の悪評も受けています(欧米

が、肺炎や中耳炎などの合併によりさらに発熱が長期にわたることもあり、平均の入院率は40%に達します。また、脳炎や肺炎が原因で死亡する子どもは、この日本で年間数十人いると言われています)。世界的に麻疹撲滅の方向に動き出していますが、町田市でも今年、都内では先頭を切って、町田市はしかゼロ対策委員会が発足し、町田市、町田保健所、医師会が協力して、町田市が「はしかゼロ」になることを目指しています。

麻疹(はしか)

麻疹撲滅という大きな目標がありますが、まず、身近な所から始めることが大事です。これを読んだ方の身近にいる1歳を超えたお子さんは、早めに予防接種を済ませましょう(保育所などの集団生活の場合は1歳前の接種も考慮して下さい)。そして麻疹の怖さを周囲に伝えて下さい。次々と伝えてもらうことによって、麻疹に対する意識が広がっていきま